

健康社会研究センター ニュースレター 第7号

2010.11.04 発行

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

名古屋市中区千代田 5 - 22 - 35

日本福祉大学 名古屋キャンパス北館 7 階

Tel:052-242-3074/Fax:052-242-3076

◆ 目次 ◆

- 1 最近のプレスリリース
 - 2 主な研究成果発表
 - 3 学会・シンポジウム等のお知らせ
-

1 最近のプレスリリース

慢性腎臓病の発症にも社会的経済地位が関連する (2010年10月19日更新)

慢性腎臓病の発症にも、所得や職業階層、学歴等でみた社会経済的地位に代表される社会的決定要因が関連しているという報告が増えている。所得や教育年数、職業階層のいずれかの社会経済的地位と慢性腎臓病有病率との関連を検討した報告を検索したところ41件あった。その知見をまとめた。

《詳細はこちら》 <http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/10-003.pdf>

2 主な研究成果発表

<論文>

- ・吉井清子：健康の社会的決定要因（6）「メタボリックシンドロームと社会経済的地位」。日本公衆衛生雑誌 57(9)：848-852, 2010, 9

<学会発表>

- ① S. Jeong, K. Kondo, M. Ise, I. Miyai, M. Yamaga, A. Yamaguchi, T. Asahi, M. Ohguchi, H. Kamosita, N. Nishimura, H. Hara, K. Yoshida, T. Terasaki, A. Toyota, S. Kobayashi : THE IMPACTS REGISTERED PHYSICIANS CREATED DURING PARTICIPATING AS REHABILITATION SPECIALISTS IN ACUTE REHABILITATION WARDS. The 7th World Stroke Congress, October 13-16 2010, COEX Center, Seoul, KOREA
- ② 近藤克則：学術総会企画Ⅲ（特別シンポジウム）基調講演 well-being（幸福・健康）と社会的共通資本—イギリスからの示唆。日本病院管理学会第48回学術総会, 2010.10.15 広島国際会議場
- ③ 武藤正樹, 近藤克則, 筒井孝子, 藤井賢一郎：公募企画Ⅰ（学術シンポジウム）ケアの質評価。日本病院管理学会第48回学術総会, 2010.10.15 広島国際会議場
- ④ 近藤克則：国際学術交流シンポジウム ベンチマークによるケアの質評価システム開発の試み。福祉サービスのデリバリー・システムとソーシャルワーカー高齢者ケアサービスの運営と評価システムの国際比較研究—。日本社会福祉学会第58回秋季大会, 2010.10.10, 日本福祉大学美浜キャンパス
- ⑤ 平松誠：家族介護とうつ、死亡・要介護状態発生との関連—大規模調査データを用いての再検討—。日本社会福祉学会第58回秋季大会, 2010.10.10, 日本福祉大学美浜キャンパス
- ⑥ 鄭丞媛：急性期リハビリテーション医療におけるMSWが関わる患者の特徴—リハビリテーション患者データバンクのデータを用いて—（ポスター発表）。日本社会福祉学会第58回秋季大会, 2010.10.10, 日本福祉大学美浜キャンパス
- ⑦ 近藤克則：高齢者の健診受診と「将来における楽しみ」、所得との関連：AGESプロジェクト。第69回日本公衆衛生学会総会, 2010.10.27-29, 東京国際フォーラム
- ⑧ 近藤尚己：相対的貧困ラインの介護予防への示唆：AGES縦断データ。第69回日本公衆衛生学会総会, 2010.10.27-29, 東京国際フォーラム
- ⑨ 鄭丞媛：パネル調査によるソーシャル・キャピタル変数の信頼性の検討：AGESプロジェクト。第69回日本公衆衛生学会総会, 2010.10.27-29, 東京国際フォーラム
- ⑩ 竹田徳則：地域高齢者の「認知症を伴う要介護認定発生割合」の予測点：AGESコホート。第69回

- 日本公衆衛生学会総会, 2010. 10. 27-29, 東京国際フォーラム
- ⑪ 中出美代：在宅高齢者の睡眠の質とその関連要因：AGES プロジェクト。第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010. 10. 27-29, 東京国際フォーラム
 - ⑫ 花岡智恵：Frailty モデルを用いた友人有無と高齢者の死亡・要介護確率：AGES コホート。第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010. 10. 27-29, 東京国際フォーラム
 - ⑬ 平井寛：一般高齢者施策として実施された地域ケア事業と健診参加者の身体心理社会的特徴。第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010. 10. 27-29, 東京国際フォーラム
 - ⑭ 田中剛：地域の力（ソーシャル・キャピタル）と健康—最新の知見と実際の保健医療行政への応用—。第 69 回日本公衆衛生学会総会自由集会, 2010. 10. 27-29, 東京国際フォーラム
 - ⑮ 平井寛：地域ソーシャル・キャピタルへの介入事例 愛知県武豊町「憩いのサロン」。第 69 回日本公衆衛生学会総会自由集会, 2010. 10. 27-29, 東京国際フォーラム

3 学会・シンポジウム等のお知らせ

1) 延世大学校・日本福祉大学学術シンポジウム

【日 時】 2010 年 10 月 30 日（土）9：00～18：00

【場 所】 延世大学校原州キャンパス創造館

【主 題】 韓国と日本の未来志向的保健医療福祉体系構築

午前 08:30-09:00 登録

09:00-09:20 開会式

開会辞：ソ・ヨンジュン 延世大学校医療福祉研究所長

祝辞：ハン・ギス 延世大学校副総長

祝辞：二木 立 日本福祉大学副学長

<第 1 セッション>

座長：ハン・ダルソク(翰林大総長)

09:20-10:00 政権入れ替え後の韓国の保健医療福祉政策の変化 (延世大学校 イ・ギンジュ 教授)

10:00-10:40 日本における 2009 年政権交代と民主党の医療政策 (日本福祉大学 二木立 教授)

10:40-11:10 討論(韓国, 日本福祉大学)

11:10-11:20 休憩

11:20-12:00 韓国の健康不平等の実態と改善戦略 (ソウル大学校保健大学院 キム・ファングヨブ 教授)

12:00-12:40 介護予防の到達点と行方 (日本福祉大学 近藤克則 教授)

12:40-13:10 指定討論(韓国, 日本福祉大学)

午後 13:10-14:00 昼食

<第 2 セッション>

座長：ユ・スンガム(延世大学校保健大学院長)

14:00-14:40 長期療養保険実施 2 年の成果と課題 (延世大学校 ソ・ヨンジュン 教授)

14:40-15:20 日本の介護保険制度の現状と課題 —介護保険法改正に向けて—
(大阪市立大学 白澤政和 教授)

15:20-15:50 討論(韓国保健福祉部療養制度科長、日本福祉大学)

15:50-16:00 休息

16:00-16:40 老人長期療養サービス提供における健康保険公団及び地方自治体の役割
(カトリック大学社会福祉学科 キム・ファンウ 教授)

16:40-17:20 新たな 2 時点間分析モデルの提案と自治体間比較 (日本福祉大学 平野隆之 教授)

17:20-17:50 討論(韓国, 日本福祉大学)

17:50-18:00 総合討論

18:00- 閉会

2) 第 14 回地域保健全国大会 <<詳細はこちら>>

講演テーマ：「健康格差社会」への処方箋—地域づくりとヘルスプロモーション
近藤克則 (日本福祉大学)

- 【日 時】 平成22年11月2日（火）
【主 催】 厚生労働省，新潟県，新潟市，(財)日本公衆衛生協会，(財)健康・体力づくり事業財団，
(社)全国保健センター連合会，(社)全国地区衛生組織連合会
【会 場】 朱鷺メッセ・国際会議場スノーホール
(新潟市中央区万代島6番1号)

3) 第三期「健康と暮らしの調査」保険者向け説明会について[要事前予約]

「第三期『健康と暮らしの調査』を活用した介護保険の政策評価委に関する説明会」が行われます。

- 【日 時】 平成22年12月13日（月）13：00～15：00
【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス北館7階7B会議室

ニューズレター第7号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら
<k-manami@n-fukushi.ac.jp（泉）>までお知らせください。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

（このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因－社会疫学の可能性」（2009年3月14日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています）